

そよかぜ 9月園便り

令和2年9月1日（火）
西東京市立そよかぜ保育園

暑い暑い夏がやって来たと思っていたら季節は移ろい、風は秋の気配をまとっています。
秋は食べる物も美味しくなり、身体を動かすにも良い季節です。

また「秋の夜長」と言われますが、日が暮れるのも早くなり、静かな夜の時間を本でも読みながらゆったり過ごすのも大人にとってはいいものですね。（くれぐれも子どもたちは生活リズムを崩すことなく早寝早起きを心掛けましょう！）

最近1歳クラスの保育応援に入ったところ、その成長ぶりに驚きました。言葉が増えてきているのもそうですが、いろいろなことが分かってきて大人や友だちとのやりとりが実に楽しくなっているのです。

「ことりことり」で「〇〇ちゃんのところへ飛んでいけー」と歌うと、名前を呼んだお友だちのところに飛んでいきます。呼ばれた方の子も飛んでくる子をしっかりと受け止めてくれます。そうです、友だちの名前が分かっているからこそできる楽しい遊びです。

生活の中でも先に登園している子が後から来た子を見て「〇〇ちゃん来たね」と言いながら入り口まで迎えに行ったり、外に行くときの帽子や食事の時に使うおしぼりタオルなど、友だちの物もよく分かっていて「〇〇ちゃんの」と渡してあげる姿も見られます。

名前が分かるってすごいことなんです。まず自分の名前が分かり、そして大人や友だちにも名前があることを知り、それがコミュニケーションを広げていくことにも繋がっていきます。



お父さん、お母さんの思いがこめられた大切な名前

私（今宮）は「理佐」という名前ですが、これには父の深い思いが込められています。
書道が趣味だった父は自分が好きだった書家の名前から私の名前を付けました。平安時代に能書家「藤原佐理（ふじわらのすけまさ）」という人がいて、この人は三蹟（書道の大御所三人）のうちの一人だったとのこと。父はこの人の書がとても好きで、きっと娘にもこのような美しい字が書けるようになってほしいという思いがあったのでしょう。ただ一つ、「佐理」ではゴロが悪いと思っただけで、ひっくり返して「理佐」にしたことが私の乱筆の要因ではないかと悔やまれます。もちろん私は自分の名前がとても気に入っています！

機会があればぜひ一人一人の子どもたちの名前の由来を聞いてみたいです。

年長さんになったら、子どもたちに名前の由来を話してあげるのも良いかもしれませんね。

クラス様子



梅雨明けが遅く、タライプールのスタートも8月に入ってからでしたが、園庭にあるミストをつけて、気温にも注意しながらタライプールでの水遊びを楽しみましたよ！初めての水遊びでは、ちょっとびっくりする子もいましたが、徐々に慣れてきてバシャバシャ水しぶきを立てる子もいます。この2ヶ月近く、なかなか戸外遊びを楽しむことが出来なかったもので、9月はたくさんさんの自然に触れながら遊んでいきます。

8月は毎日のように水遊びを楽しみました。プールの準備をしているだけで、「入りたい！」と心躍らせ、窓に張り付いてワクワクの子ども達。最初は水が顔に掛かると嫌がっていた子も、少しずつ水の気持ち良さに慣れ、顔に掛かっても笑って楽しむ姿が見られましたよ。

今月は散歩に出掛け、秋の植物、虫に触れ、季節を感じていきます。



暑い日が続いた8月は、毎日のように園庭に出て水遊びを楽しみました。最初は苦手そうにしていた子も、水遊びを繰り返す中で段々慣れていき、今では全身びしょりになって楽しんでいきます。大人との水かけっこもどんどんダイナミックになり、バケツの水でたくさん水がかかっても、「きゃ〜！」「気持ちいい！」と楽しそうな笑い声を響かせていますよ。

暑さが残るうちは引き続き水遊びを存分に楽しみ、暑さが落ち着いてきたら散歩にも出かけ、積極的に自然に触れて遊んでいきます！

先日クラスでリズムしていたら「あれ、ホールからもリズムがきこえるよ」と言う声に動きを止めて耳澄ませ「おんなじだね〜」とリズムに合わせて動きました。♪くまさん、くまさん♪を歌いながら動いていると窓から「ひばりさん、ホールにおいで」と、にこにこ誘いに来てくださった武田理事長。「えー！！」とホールへ行くと、「ひばりさんもリズムしようか」とピアノを弾き始めました。子ども達は笑いながら

♪うみだ うみだ ひ〜ろいな〜 な〜みがいたり か〜えったり
ざんぷりこ ちゃぷちゃぷちゃぷ♪

夏ならではのリズムを楽しんだひと時でした。

今月も体調に気を付け、元気に遊んでいきます。





暑い日が続きましたが、水遊びが大好きなつばめ組。「ミストやるー！」と毎日ワクワクしながら水遊びを楽しみました。園庭に出れば泥んこ遊び。泥プールへ豪快にジャンプ！

全身真っ黒になってにっこり白い歯が輝いていましたよ。
今月少し過ごしやすい日には虫探しをしに、色んな場所へ探検に出掛けたいと思います！

8月は厳しい暑さが続きましたが、園庭に出て思いっきり水遊びをして涼みましたよ。

また、はやぶさ組ならではの行事も目白押し。夏祭りでは、みんなで話し合いながらお神輿を作りました。「わっしょいわっしょい！」と、当日はお神輿を担いで園庭を練り歩く姿は、さすがはやぶささん！

後半には縄編みを行いました。「完成した！！」と喜びの声が聞こえつつも、網目がとんでる、、、。何度も何度も編み直しながら自分だけの素敵な縄を作り上げています。頑張って出来上がったのが嬉しくて、完成するとすぐに跳び始めていますよ！今月は縄跳び三昧になりそうです！



布をお友だちと協力して裂いていきます

裂いた布を2色(一色は1本、もう一色は2本)選び、三つ編みをします



9月 園行事のお知らせ

1日(火) 引取り訓練

9日(水) 布団乾燥

29日(火) 誕生会

※9月の誕生会も各クラスで行います

夜空にくっきりとお月さま

「ワー きれい！」 誰か住んで居るのかな～？

うさぎさんはやっぱりお餅つきをしているかしら？・・・なんて思いながら、幸せな気分ですばらく眺めていると リンリン 虫の声も聞こえてきます。

♪ まるい つきが でした

影を 踏めば 鬼

みんな おいで じゃんけん 影踏み を しましょ ♪

子どもたちの大好きなわらべ歌遊びの一つです。

長月ともいわれる 9月 実りの秋のはじまりです。 園庭のバケツ稲も穂をつけています。菅生の田んぼも網掛けをしました。

すすきや 桔梗 萩 くず 女郎花 撫子 ふじばかま(七草)を飾り、さといも さつまいも 栗 梨 秋なす 山芋等野山でとれた野菜や果実とお月見団子をお供えし、感謝を込めて お月見会。収穫をお祝いする場でもあります。

9月は

防災の日 救急の日 敬老の日 ふみの日 お彼岸 秋の交通安全週間 動物愛護週間と続いています。依然としてコロナ禍でトンネルの中にいますが、生活の節目として見直そうということではないでしょうか。

おつきさま こんばんは(福音館)

おつきさま こっちむいて(福音館)

おやすみなさい おつきさま (評論社)

パパ お月さま取って (偕成社)

14ひきのおつきみ(童心社)

つきのぼうや(福音館)

リスのお月さま(コルセル)

お月さまってどんなあじ (らんか社)

・・・ 沢山のお月さまに関する絵本があります。

まだまだ暑い日が続きます。あちこちに秋の気配を感じながら、月を眺めるもよし 絵本を読むもよし、秋の夜長を満喫しませんか。

職員のつぶやき

社会人になり、あっという間に5カ月が経ちました。予想していなかった見えない敵との生活から始まった4月でしたが、周りの先輩方に支えられ、元気な子どもたちの姿に力をもらいながら過ごしています。

私は0歳から6歳までたつの子保育園で育ちました。歌が大好きで、特に“森は生きている”が好きでした。小さな頃、家でよく歌っていたようで、父も母も歌うことができるくらいです。

他にも、保育園で歌っている歌を家で歌っていたようで、この前家で保育園の歌を歌っていると、母も一緒に歌ってきました。「何で知ってるの！」と聞くと「小さいころずっと歌ってたよ。」と言われました。

保育園でも遊んでいる時や手を洗っている時に歌を歌っている姿が見られます。そういう子どもの姿を大切に、歌うことが好きな子が増えてくれるといいなと思います。

羽村しらうめ保育園 永井愛莉